



みどり
水と農地を守る

しんりゆう

発行所
神竜土地改良区

発行者及編集者
理事長職務代理者
副理事長 **北村 薫**

発行日
平成30年5月1日



しおじり よしてる
塩尻芳央 理事長

【4月4日 午後4時29分 癌性脳梗塞により永眠(享年76歳)】

もくじ

■三十二年の永きに亘り土地改良に捧げる 2~4

三十二年の永きに亘り土地改良に捧げる

塩尻芳央理事長 急逝

しおじり よしてらる

去る四月四日に享年七十六歳を以って急逝された塩尻芳央理事長の葬儀が、四月七日、八日に深川市内のやすらぎホールに於いて北海道土地改良事業団体連合会、神竜土地改良区、塩尻家による合同葬によりしめやかに執り行われました。

葬儀には、二日間で衆参国会議員、北海道議会議員、市町村長をはじめ多くの御来賓と一般参列者合わせて延べ約千二百人が訪れ、故人の冥福を祈りました。



吊辞を述べる北村副理事長

塩尻理事長は温厚な性格にして確かな見識と行動力により、昭和六十年八月に地域農業者の強い推挙を受け神竜土地改良区理事に就任すると、その力量と誠実な人柄は組合員誰もが認めるところとなり、平成六年からは同副理事長、平成十年からは同理事長に就任し、良質で良食味な水稲生産に欠かすことができないかんがい用水の安定供給と、将来の地域農業の構図を見据えた生産基盤の近代化整備について、極めて強い信念の下、その必要性と重要性を幾度となく組合員に説かれ、国営かんがい排水事業北空知地区では、これまで地区内に散在していた小河川からの堰止取水や中小揚水機による取水を廃止し、水量豊かな石狩川に水源を一元化する大規模で斬新的な用水再編を強く推進し、今日の水不足の心配が無い地域の姿を築き、道営農業農村整備事業では、組合員数が減少し一戸当りの経営面積が拡大して行く中であっても、この地域を担う農業者達が明るい将来展望を持って営農を続けて行けるよう、さらには自分の子供たちに胸を張って農業を継がせることができるよう、用水路のパイプライン化やほ場の大区画化

などを強く推進してこられ、現在、九地区もの道営農業農村整備事業が大々的に実施されているところであります。また、平成二十六年三月に北海道土地改良事業団体連合会会長理事、同四月に全国土地改良事業団体連合会理事に就任すると活躍の場を更に大きく広げられ、農業農村整備事業の計画的な推進に必要な予算の確保をはじめ、それらに係る農家負担について、同様の配慮が必要であることや、近年の工事施工業者数減少によつて農業農村整備事業の進捗に支障を来してはならないとの考えから、工事の通年施工と農家負担の軽減が可能となる通称促進費の制度化を自身のライフワークとしながら東奔西走幾度も陳情に回られ、平成二十六年度には促進費の制度を活用した通年施工と農家負担軽減対策が現実のものとなり、予算についても平成三十年年度国費予算(補正含む)が目標とする予算削減前の平成二十一年度予算を超えるまでに回復を見せるなど、本道農業農村整備事業の推進と本道農業の発展に全身全霊を傾けてこられました。

就任以降およそ三十二年もの永きに亘り、その人生の多くを土地改良に捧げてこられました。告別式では、山下貴史深川市長をはじめ、理事長職務代理者の北村薫副理事長、北海道土地改良事業団体連合会土地改良区委員長の山田智当別土地改良区理事長、親友の東原英一氏、お孫さんの塩尻果歩さんが吊辞を述べられ、弔電拜読の後、別れを惜しむかの様になごり雪が降りしきる中、多くの参列者に見送られながら最後のお別れを致しました。今日、農業の国際化や更なる農業者数の減少など地域農業を取り巻く情勢が一層厳しさを増す中に於いて、農業を愛され、この地域を心から愛された塩尻理事長が志とされ、願っていた姿に一歩でも近づけることができれば、残された足跡と教えを胸に組合員と役職員が一致協力して、地域農業の一層の発展に努力致すことを強くお誓い申し上げた次第です。ここに在りし日のお姿と数多くのご遺徳を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。塩尻理事長、永い間本当にありがとうございました。どうぞ安らかに。

故 塩尻芳央氏の略歴

(出生地)

昭和18年2月12日 雨竜郡一已村(現 深川市一已町)にて出生

(学歴)

昭和38年3月31日 北海道立深川農業高等学校(定時制)卒業

(職歴)

昭和38年4月1日 家業である農業に従事

《主な公職・団体歴》

昭和61年8月18日～平成6年8月17日	神竜土地改良区 理事
平成6年8月18日～平成10年8月17日	神竜土地改良区 副理事長
平成10年8月18日～平成30年4月4日	神竜土地改良区 理事長
昭和55年4月19日～昭和61年4月18日	イチヤン農業協同組合 理事
平成17年7月20日～平成23年7月19日	深川市農業委員会委員
平成20年5月1日～平成25年3月23日	北海道河川委員会委員
平成18年8月1日～平成26年3月31日	北空知土地改良区運営協議会 会長
平成18年7月14日～平成26年1月23日	空知管内土地改良区運営協議会 副会長
平成26年1月24日～平成27年1月26日	空知管内土地改良区運営協議会 会長
平成16年2月23日～平成18年3月1日	北海道土地改良事業団体連合会空知支部 理事
平成18年3月2日～平成26年3月4日	北海道土地改良事業団体連合会空知支部 副支部長
平成26年3月5日～平成30年4月4日	北海道土地改良事業団体連合会 空知支部長
平成18年3月2日～平成26年3月26日	北海道土地改良事業団体連合会 理事
平成26年3月27日～平成30年4月4日	北海道土地改良事業団体連合会 会長理事
平成26年4月1日～平成30年4月4日	全国土地改良事業団体連合会 理事

【主な表彰歴】

昭和56年9月20日	北海道善行表彰(児童福祉表彰)
平成7年10月22日	全国里親会会長表彰(児童福祉表彰)
平成19年11月2日	厚生労働大臣表彰(児童福祉表彰)
平成20年9月29日	北海道土地改良事業団体連合会会長表彰(土地改良事業功労)
平成20年10月14日	全国土地改良事業団体連合会会長表彰(土地改良事業功績者)
平成21年2月10日	北海道知事表彰(産業貢献賞・土地改良事業功労)
平成21年11月3日	深川市功労者表彰(土地改良事業功労)
平成22年10月22日	農林水産省農村振興局長表彰(土地改良事業功績者)
平成25年3月28日	北海道土地改良事業団体連合会会長表彰(土地改良事業特別功労)
平成25年4月29日	旭日双光章
平成29年10月25日	農林水産大臣表彰(土地改良事業功績者)

在りし日の塩尻理事長



理事に就任した当時の塩尻氏 (S61.8 後列右から4人目)



理事長に就任した当時の塩尻氏 (H10.8 右から4人目)



地元選出国議員へ農地の早期復旧と支援を陳情する塩尻氏 (H28.8 豪雨災害被災地にて)



平成25年 春の叙勲旭日双光章受章を記念してまき子夫人と (H25.4 東京プリンスホテルにて)



役員新年交礼会 (H19.1 好物の焼き芋を手に 深川市内にて)



地元選出国議員へ地域が抱える課題を訴える塩尻氏 (H26.11 東京都にて)



瀬戸大橋を背に談笑する塩尻氏 (H28.11 役員支線組合長研修にて 前列右から3人目)



公明党石田政調会長・斉藤幹事長 代行らと懇談する塩尻氏 (H28.12 東京赤坂にて 左から2人目)



旭日双光章叙勲受章祝賀会にて まき子夫人と (H25.7 深川市内ホテルにて)



農林水産大臣表彰を受賞 (H29.10 全国土地改良大会 静岡県にて)

塩尻理事長 本当に永い間ありがとうございました どうぞ安らかに